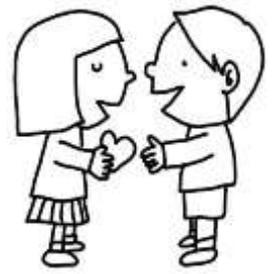




ほけんだより



みんな持っている同じ命を大切にしよう！！

現代は、いじめや虐待など命の大切について考えさせられる事件などが多く聞かれます。命を大切にするという事は、私たちが生きていく上でもっとも大切な事です。大人も子どもも一緒になって、命の大切さについて考えてみましょう。

子どもの生まれた時の思い出を話そう！



子どもが生まれた時の事を話してあげましょう。どんなふうに生まれたのか、その時どんなふうに思ったのかなどを話すと共に、写真やビデオなどがあれば見せてあげるとよいでしょう。またお腹の中にいる時に、お父さんやお母さんをはじめとした家族の人達が思った事などを、子どもに伝えてみるのもよいかと思えます。また、命の誕生は奇跡的な瞬間であり、そのすばらしさについて話してあげましょう。

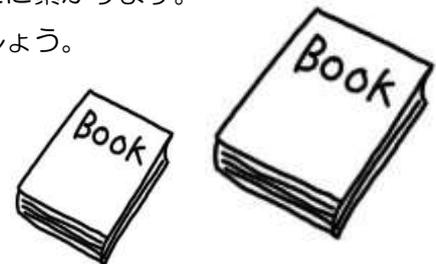
生き物の命をいただく



私達は、毎日の食事の中で多くの生き物によって命をいただいて、それを食べる事によって日々成長し生かされています。食べ物に感謝の気持ちを持つのは命の大切さを知ることにつながります。

感謝の心を込めて食事のあいさつをするように子ども達に話しましょう。

一緒に読んでみましょう！！



★命をテーマにした絵本★

- 「みんなあかちゃんだった」 鈴木まもる/作 小峰書店刊
- 「ぼくがあかちゃんだったとき」 浜田桂子/作・絵 教育画劇刊
- 「うまれてきてくれてありがとう」 にしもとよう/作 黒井健/絵 童心社刊
- 「おへそのあな」 長谷川義史/作・絵 BL出版刊
- 「おかあさんがおかあさんになった日」
- 「おとうさんがおとうさんになった日」 長野ヒデ子/作・絵 童心社刊
- 「あかちゃん」 ジョン・バーニング/作 谷川俊太郎/訳 富山房刊
- 「いぬかって！」 のぶみ/作・絵 岩崎書店刊
- 「うさぎのルーpees」 とい かや/作・絵 小学館刊

